

上天草市議会だより

えがばよ



上天草市

第8号

2012年2月15日発行

発行 / 上天草市議会
編集 / 上天草市議会
広報編集特別委員会
Tel 0964-56-1111

龍ヶ岳山頂

主な内容

- 決算報告.....P 5
- 一般質問 市政のヨコを問う.....P9~16
- 議員定数について.....P 17
- 議会報告会を開催しました.....P18~19



12月定例会

12月定例会は11月29日から12月20日まで開催され、条例7件、補正予算6件、その他の議案5件を審議しました。請願陳情を除く市長提案の議案はすべて原案どおり可決しました。

また、決算特別委員会から平成22年度決算について審査報告があり、委員会からの報告のとおり認定しました。

条例制定・改正

(主なもの)

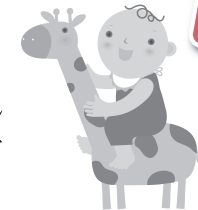
●一般職員の給与改定

熊本県職員給与の改定に関する勧告に伴い、市職員の一般職の月例給の改定を行いました。



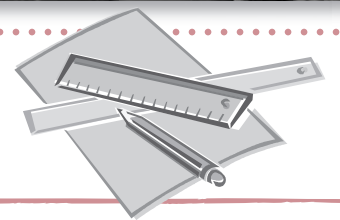
●こども未来館の設置及び管理に関する条例

市立合津保育園跡地を利用し、子育てに関する相談、交流の場として未来館を設置し、来年度より運営します。



●奨学金貸与条例の改定

今まで対象ではなかった大学院生まで貸与の基準を拡大します。



補正予算

一般会計補正予算は歳入歳出それぞれ2億5,277万1,000円を追加し、今年最後の予算計上となりました。



蔵々千束線災害復旧工事

6,650万円

6月20日の集中豪雨により決壊した蔵々千束線の復旧に関する費用。



上小学校駐車場整備工事

200万円

上小学校と上北小学校統合に伴い学校環境整備のための費用。



ふるさとハローワーク設置事業

344万円

市民の雇用を充実させるため、ふるさとハローワーク上草を平成24年3月に開設するための事業費。



地域支え合い体制事業

303万円

こども未来館の設置に当たり合津保育園の改修等の経費。



災害時要支援者地域支えあいづくり事業

1,401万円

避難所における災害時要支援者に必要な消耗品や備品及び、備蓄用倉庫を購入する費用。



意見書提出

全国豊かな海づくり大会

平成25年熊本県で予定されている『第33回全国豊かな海づくり大会』の放流事業を天草地域において開催されることを要望するため、地方自治法第99条の規定により県知事に対して意見書提出の議案が経済建設委員会より上程されました。審議の結果全会一致で可決し、12月22日熊本県知事宛に意見書を提出しました。



人事案件

人権擁護委員の推薦

愛甲郁子氏 大矢野町
 瀬川重子氏 松島町
 中山豊茂氏 松島町



請願・陳情



件名	提出者	結果
建設に働く仲間と地域経済を救うルール作りに関する請願	熊本県建築労働組合天草支部上島分会 川崎正一	継続審査
350万人のウィルス性肝炎患者の救済について国への意見書提出を求める陳情について	すべての肝炎患者の救済を求める熊本の上草支部 代表 段下勝輔 他2名	継続審査
災害時避難場所に関する陳情書	樋会永浦地区自主防災会 会長 坂田幸重 他2名	採択
県立松島商業高等学校の閉校後の施設活用についての要望書	教良木河内活性化協議会、松島商業高等学校を愛護する市民の会 会長 中山 資	継続審査

議決の結果を公表します!

重要議案等に対して、各議員が「賛成」「反対」のどちらであったか、下記のとおり公表します。

議案等の賛否表

議案番号	議案名	賛否	結果	表決数	平田 晶子	何川 雅彦	田中 たつお	須崎 光枝	宮下 昌子	西本 輝幸	高橋 健	小西 涼司	田中 豊八	島田 光久	川口 望	田中 万里	北垣 潮	園田 一博	窪田 進市	津留 和子	桑原 千知	渡辺 勝也	田中 勝毅	猪塚 安親	新宅 靖司	堀江 隆臣	
議案第81号	上天草市一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正	原案に対して賛成か	原案可決	19:2	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第88号	一般会計補正予算	原案に対して賛成か	原案可決	21:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第5号	全国豊かな海づくり大会の誘致に関する意見書の提出	可決することに賛成か	可決	21:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第17号	350万人のウィルス性肝炎患者の救済についての意見書提出に関する陳情	継続審査とすることに賛成か	継続審査	18:3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○議案名は一部省略しています。○陳情の賛否は反対者があった分のみ掲載。

○賛成 ●反対 - 議長は除く

決算報告

他12会計を認定

平成22年度一般会計169億円 ～財政基盤の強化が急務!～

平成23年10月19日から21日にかけて開かれた決算特別委員会での審議を経て、上程された平成22年度の歳入歳出決算が認定されました。一般会計169億円、他特別会計を合わせると22年度は296億円の歳出決算となりました。質疑では、財政力指数が毎年低くなってきていることを受け、地方交付税が減少する平成26年度以降を見据え、更なる財政基盤強化の必要性などが指摘されました。

財政力指数とは

財政力を示す指数で、財政力指数が高いほど自主財源の割合が高く、財政力が強い団体ということになり、1を超える団体は、普通地方交付税の交付を受けない。上天草市の22年度財政力指数は0.264と県内14市では最も低い。

決算特別委員会での主な質疑

質疑

財政力指数は毎年低くなってきているが、今後、交付税等も減額されていく中で、平成24年度以降の予算をどう組むのか。

回答

自主財源が乏しいのが原因であり、平成31年の普通交付税一本算定実施を考えると、今後の予算編成がさらに厳しくなると思われます。対策としては自主財源向上のための収納対策、地場産業の育成、企業誘致等を行い、国、県等からの補助事業等を活用した事業展開を目指します。

質疑

市民税と固定資産税で、不納欠損額の内訳は？

回答

住民税約313万円、固定資産税約5,220万円です。

質疑

健康管理センター業務について、人間ドックの健診が減少している原因と対策について。

回答

平成20年4月から特定健診開始により、国保の人間ドックが廃止となったことが影響しています。今後も市職員への受診の呼びかけと市民への周知徹底に努めます。



決算特別委員会の様子

決算特別委員会

- | | | | | |
|-----|------|-------|------|------|
| 委員長 | 北垣 潮 | 田中たつお | 須崎光枝 | 宮下昌子 |
| 委員 | 平田晶子 | 高橋 健 | 島田光久 | 田中万里 |
| | 西本輝幸 | 新宅靖司 | 小西涼司 | |
| | 桑原千知 | | | |

臨時議会

11月7日に議会臨時議会が開かれ、補正予算1件、承認2件、財産(土地)の取得について1件が上程され、全て原案のとおり可決・承認しました。

今回の一般会計補正予算について

2億円を可決!!

9月議会の折に、基金積立関連の補正予算において、一般質問、総務常任委員会で、「市民から上げられている要望等に応える必要があるのではないか」との意見に対応し、緊急性のある事業や施設の修繕を、今回の補正予算として歳入歳出それぞれ**2億円**を追加し、可決されました。

農林水産事業

- 中山間総合整備事業基礎調査委託
 - 荒木浜農村公園整備事業
 - 園部橋橋梁調査診断及び補修設計業務委託
 - 排水機場施設管理
 - 内野河内コミュニティセンター改修事業
 - 林道東浦大作山線法面改修事業
 - 上地区荷さばき所舗装工事
 - 大道漁村広場多目的広場補修工事
- 6,000万円

商工観光事業

- キャンプ場施設修繕(ミュージアム天文台他)
 - プール機器修繕(交流センター)
 - 天然ガス分離装置設置工事(交流センター)
- 1,000万円

建設事業

- 道路維持.....14件
 - 道路改良.....8件
 - 舗装事業.....16件
 - 河川一般.....1件
 - 港湾・海岸事業.....5件
- 1億3,000万円

松島庁舎建設予定地の土地購入を承認!!

懸案事項である、松島庁舎建設予定地の土地取得の議案が上程され、全会一致で承認されました。25年度完成をめざし、計画が進められています。

- 場所 / 上天草市松島町合津字7915番地5他
ゆめマート松島店近隣
- 面積 / 10,064㎡
- 取得金額 / 7,370万8,736円
- 周辺道路 / 東側:国道266号
- 建設場所 / 松島「ゆめマート」近隣
山陽木材所有地



上天草市議会 常任委員会

総務常任委員会

12月12日、付託された3議案と陳情3件の審査を行い、議案はすべて原案のとおり可決しました。陳情については、1件は採択、2件は継続審議としました。

議案第88号

上天草市一般会計補正予算(第6号)

【所管部門】

問

乗合タクシー運行費補助金139万円について詳細を伺いたい。



乗合タクシー乗降場所

答

平成22年度より新たに大矢野町の長砂連・野米地区及び白涛・東満地区、龍ヶ岳町大作山地区の運行を開始しましたが、利用者が増加しており、ピーク時の実績を基に平成24年3月までの費用を試算したところ、不足額が見込まれたために、予算を計上しました。

(企画政策課)

可決

請願第1号

建設に働く仲間と地域経済を救うルールづくりに関する請願について

請願

自治体が発注する公共工事については、地元業者へ優先的に発注し、また生活保護水準を下回る現場労働者の賃金の現状を改善してほしい。

審議

請願内容について、委員会として審査を充実させるために、請願者等から意見を聴取した上で判断していくとの結論に達し、継続審査となりました。

継続審査

陳情第18号

災害時避難場所に関する陳情

陳情

樋合永浦地区自主防災会より、避難場所の整備について、地区の予算では限界があるため、一次避難所及び避難経路の整備費用を求めたい。

審議

陳情内容としては、全員異議なく採択すべきものと決定しましたが、行政としては、『今後、同様の陳情に関しては、100%の予算措置は困難と思われるが、このように取り組みが早い地区に対しては、市として何らかの手立てを行う必要がある』と判断し、継続審査としました。

経済建設常任委員会

要がある。まずはハード整備よりもソフト面での防災訓練が必要であり、今後各地においても実地訓練の推進を検討したい。』との答弁がありました。

採択

12月14日、付託された4議案の審査を行い、すべて原案のとおりとし、委員会発議で『全国豊かな海づくり大会』に関する意見書提出を可決しました。

可決

議案第88号

上天草市一般会計補正予算(第6号)

【所管部門】

問

ハローワーク設置について、設置期間、利用目標は。

答

国と市が共同で設置するもので、利用件数が少なければ将来的には廃止も検討されることとなります。目標として、年間の就職件数320件且つ相談件数7千件、5年間の平均就職件数が1年あたり260件の利用を考えています。

(商工観光課)

文教厚生常任委員会

12月13日、付託された条例関係5議案、予算関係4議案、陳情1件を審議し、議案はすべて原案とおりとし、陳情は継続審査となりました。こども未来館設置について、現地踏査を行い、工事の内容の説明を受けました。

議案第84号

上天草市こども未来館の設置及び管理に関する条例制定

問

こども未来館で取り組む事業内容の詳細と、休館日について、今後変更する方向で進めていくのか。

答

こども未来館を開館してどのくらいのニーズがあるかを把握し、障がい児の保護者からの意見も聞きながら運営していきたい。必要に応じて休日にも対応したいと思います。

(福祉課)

可決

議案第85号

上天草市奨学金貸与条例の一部改正

問

奨学金の償還状況を聞きたい。



文教厚生常任委員会は、9月に続き、12月も今津中学校の体育館建設場所を調査。教育委員会から、これまでの経緯と建設方針について報告を受けました。

今津中学校の体育館建設について

継続審査

滞納分は督促をして返済してもらうよう努め、貸付の際には、慎重に選択していきたいと思えます。留年した場合の取り扱いについては特別な事情(経済的・病氣など)を除き、対象外になると考えています。

(学務課)

可決

陳情第17号

350万人ウイルス性肝炎患者の救済について国への意見書提出を求める陳情について

国や他自治体の動向を見極める必要があるとの意見や、また肝炎患者のおかれている状況について、もっと知識を深めるべきとの意見があり、委員会として定例会まで継続審査と決定しました。

現地踏査



文教厚生常任委員会の現地踏査(合津保育園)



経済建設常任委員会は、議会閉会中の1月10日に会議を開き、観光振興について市の担当課と意見交換。



答

8月の豪雨災害による農道及び水路の崩壊を復旧するため、単独事業として、農道一本、水路5本を計上しています。

(農林水産課)

可決

問

農林水産施設災害復旧費で、農地等災害復旧工事について聞きたい。

(商工観光課)



【観光カレンダー】

答

既存のパンフレット増刷と新規で作成するものがあります。新規分は、市内宿泊施設を紹介するパンフレット5万部、湯島の観光を推進のため単独の観光マップ1万部、観光キャンペーンのノベルティとして配布する天草四郎の金太郎船3万個、天草四郎物語の冊子を3万冊予定しています。また、観光ガイドブックの増刷を5千部、簡略版を1万部作成し、その他でA列車

問

新たな観光事業開発事業及び観光情報提供サービス事業委託料で、既存のパンフレットとの整合性と観光ビジョンについて聞きたい。

答

既存のパンフレット増刷と新規で作成するものがあります。新規分は、市内宿泊施設を紹介するパンフレット5万部、湯島の観光を推進のため単独の観光マップ1万部、観光キャンペーンのノベルティとして配布する天草四郎の金太郎船3万個、天草四郎物語の冊子を3万冊予定しています。また、観光ガイドブックの増刷を5千部、簡略版を1万部作成し、その他でA列車

Q

天草五橋について

A

五橋以外の代替の橋を
検討すべき



田中たつお 議員

田中 八代を中心とした県南地域の発展について。

市長 当然、私も発展すべきであると思いますし、企業が衰退していくことに対するもろもろの影響、懸念は、私も共通に認識しています。

田中 天草五橋の耐震補強の現状と今後の計画について。

建設部長 平成7年の阪神淡路大震災をもとに、仮に地震で被災した場合でも、部分的で済むように緊急輸送の確保を図ることを目的としています。これまでに、一号橋、二号橋、五号橋の対策は完了。現在、三号橋、四号橋を実施しています。

田中 新二号橋はあと何年で出来るのか。また、費用はどれほどかかるのか。そして、計画について。

建設部長 新天門橋を含む大矢野バイパスは、平成29年度の完成を目標に進んでいます。総事業は、185億円です。

田中 天草五橋開通から45年がたち老朽化が進む中、災害時の交通確保が心配であるが、代替案について。

市長 五橋以外の代替の橋を当然検討すべきであり、その手段、方法としてこの橋が適切であるか、いろいろな考えがあります。天草八代架橋について上天草、八代、熊本県三者でお金を出し合い、現在その調査段階であり、今後も天草八代架橋の推進については、誠意をもって取り組んでいくことをご理解願います。

田中 天草は、「橋でつながれた島である」ということを天草島民皆さんが再度確認していただき、いつまでも安心で安全な暮らしの実現を目指していただきたい。



天草五橋(五号橋)

Q

新設の『子ども未来館』は、
土日祝日開館と時間延長を
保護者からの要望はないが、
状況をみて検討する



宮下 昌子 議員

A

宮下 『子ども未来館』は、子育て支援及び「障がい児を受け入れる拠点施設にしたい」と説明されたが、仕事を持つ保護者がより利用しやすい施設とするためには、土日祝日開館や時間延長をすべきではないか。

健康福祉部長 現在「キラキラ仲間」事業で療育支援を月に1回やっています。保護者からそのような要望はありませんでした。今後の状況を見て考えたいと思います。

宮下 要望のあるなしに関わらず、税金を使つてつくるのだから、どうしたら住民が利用しやすい施設になるかを一番に考えてつくるべきではないか。

市長 子育て支援の拠点になるかと考えています。開館日及び時間延長も検討課題とさせていただきたいと思えます。

【介護保険制度について】

宮下 介護保険制度がスタートして11年がたち、全国でも高すぎる保険料など多くの問題がおきている。本

市の現状と課題は。

健康福祉部長 高齢化率が上昇し、一人暮らしと認知症も増加しています。夜間サービスや訪問看護など在宅サービスが不十分であり、介護予防事業を実施しているが参加者が少ないのが現状です。

宮下 来年度改定となる保険料の試算は、(現在 平均4200円)健康福祉部長 全国平均の5200円に近い金額になると試算しています。基金を取り崩して保険料に充当できるか作業を進めています。

宮下 基金の原資は保険料だから、取り崩して保険料軽減に充てるのは当然だ。



子ども未来館として利用される予定の合津保育園

Q

上天草市の
イノシシの捕獲頭数は

A

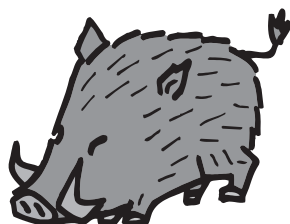
平成16年度3頭、
平成22年度894頭



北垣 潮 議員

北垣 イノシシの捕獲頭数と使われた予算は。

経済振興部長 平成16年度3頭、平成17年度2頭、18年度37頭、平成19年度149頭、平成20年度314頭、平成21年度298頭、平成22年度894頭、平成23年度は4月から10月までに、大矢野地区で1頭、松島地区で276頭、姫戸地区で81頭、龍ヶ岳で90頭となっています。予算は、わなの製作費や電気柵の補助及び駆除委託料で、平成16年度30万円、17年度68万円、18年度36万円、19年度96万7千円、20年度327万2千円、21年度699万2千円、22年度955万5千円です。



北垣 大矢野では農業で生計をたてておられる方が多いので、力をいれて臨んでいただきたい。

Q

上天草市総合計画の
進捗状況は

A

優先して取り組むべきもの
から実施している



小西 涼司 議員

小西 総合計画が策定されてから7年が経過したが、その進捗状況はどうなのか。

総務企画部長 優先的に取り組むべきものから実施しています。現在「〇〇」プログラム施策成果指標として施策ごとに数値化しています。

小西 課題として上げられていた旧4町意識の払拭についてはどうなのか。

総務企画部長 旧町の枠組みを超えたまちづくりイベントや、スポーツ大会の開催により、市民レベルの交流は着実に進んでいます。

小西 ようやく商工会が統合することになったが、市長の今の心境は。

市長 非常にありがたく思っています。これをもってようやく商工業の一体的な振興が始まると大変期待しています。観光客が20%位増えており、そういった関係で、観光と商工とうまく相乗効果を図っていききたいと思えます。

【指定金融機関について】

小西 上天草市が誕生以来、本市の

公金取り扱いは「Aあまくさが指定金融機関として行っているが、7年間継続しているその経緯とこれまでの状況はどうなのか。

会計管理者 議会の議決を経た上で平成16年3月31日に指定されています。これまで不都合な行為や不利益などの問題が発生していないこともあり、現在まで継続している状況です。

小西 今後、第三者を交えた選定委員会等を設置して、評価や選定を行うようなことは考えていないのか。

市長 公平、公正な立場から今後は検証作業など、透明性を持った上で実施したいと考えています。



商工会合併契約調印式の様子

Q

23年度で終了する妊産婦健診事業の継続について

A

今後とも継続する決断をしている



津留 和子 議員

近年、日本では、出産年齢が上昇の傾向にある。また、経済的理由により、健康診査を受診しない妊婦が多くなってきた。

そのために、平成20年度から国の事業として、それまでの公費負担の健診は2回から5回に増やされた。平成21年度からは検診回数14回に拡大された。そのうち5回分は市の一般財源で、残り9回分は2分の1が国庫補助で、市の一般財源が2分の1だった。この制度は当初22年度までだったが、1年間延長された。

世界保健機構(WHO)の統計によると、乳児死亡率の世界平均は、千人中24人で、日本は千人中1人で、188カ国の中で、アイスランドなどと並んで世界第1位である。この妊産婦健診の制度が大きく貢献しているものと思う。

23年度は市の一般財源から1100万円、補助金は600万円が予定されている。しかし、この制度が今年度で終了する。たとえ国がこの制度を打ち切りにした場合でも市として継

続いていくおつもりがあるのか。

市長 妊産婦健診の公費負担は、今後とも継続する決断をしている。

今後少子高齢化時代を迎えていて、出生率を上げていくのは大きな課題であると認識している。

また、子育て支援の観点からも、やはり大事な事業になってくると認識している。

津留 今後とも継続の決断をしているということ、安心、安堵した。

この妊産婦健診の事業というのは、これこそ行政の最たる仕事だと思う。地域住民に向けての愛情ある答弁をいただいた。



Q

蔵々千束線災害復旧の進捗状況と完成時期は

A

梅雨前の5月ぐらいには完成予定



平田 晶子 議員

平田 地盤の低い維和地区は大雨の最小限の対策として排水ポンプを設置しているが、抜本的な解決にはいたっていない。防災の見直も行われているので、この機会に地盤の低い箇所にも目を向けていただき、解決策を考えていただきたいかが。

建設部長 今後財政課と協議しながら、計画的に簡易的ポンプなど設置していきたいと思えます。蔵々千束線災害復旧工事は、1月中旬ぐらいに発注予定で、梅雨前の5月ぐらいには完成予定です。

【市公式ホームページについて】

平田 フェイスブックと市のホームページを連動させ、より上天草市の旬な情報の発信やPRに効果を高めてみてはどうか。

市長 来年度から市のホームページの大幅な刷新を検討しているので、フェイスブックを活用するかどうかも検討します。

【市の観光PRについて】

平田 「四郎くん」は何歳か。知名度を上げるために、プロフィールの設定と子ども向けの四郎くんソングや踊りを作成してみてもいいです。

経済振興部長 四郎くんは16歳です。歌や踊りを含め、親しまれるキャラクターになる仕掛けは今後やっていきたいです。

平田 霧島市立陵南小学校では修学旅行先で手作りのパンフレットを配布している。今回は四郎くんや親善大使などの観光PR隊を中心にお伺いしたが、A列車の運行や四郎くんも登場し、新たな上天草市の観光PRを展開していく時期だと思う。

大人も子どもも一緒に

観光を盛り上げていきたい、そういう思いを込め質問した。



『四郎くんや親善大使の積極的活用を!』

Q

千歳山の整備の考えは

A

今後検討する



西本 輝幸 議員

西本 23年度は地域づくり夢チャレンジ推進事業費924万7千円の委託料の内、市の負担金462万3500円で観光循環バスが運行されている。乗降者の利用人数と運転開始の6月から11月までの利用集計を伺いたい。

総務企画部長 発着地は「さんばー」から観光施設、シークルズ松島バス停ほか景勝地と77分で回るコースを1日5循環しています。毎月の利用者数で合計889名、月平均6月6・3名、7月6名、8月11名、9月8名、10月11・5名、11月11・4名となっています。

西本 889名の乗車数で、一人あたりの金額はいくらになるのか。

総務企画部長 一人あたり5142円で

西本 A列車が運行してシークルズと上天草循環バスが連結されているが循環バスの利用状況は。



観光循環バス

総務企画部長 A列車が10月の1カ月間で2334人、観光循環バス利用状況は10月の1カ月間で1277人であり、9月から10月にかけては58%増加している状況です。

西本 今後、循環バスを継続して運行していくには、国立公園に指定された、旧町ごとの魅力ある観光スポットを整備する必要がある。観光地としての誘客できる拠点は何処だと思おうか。

総務企画部長 千歳山も観光スポットの一つだと認識しております。

西本 千歳山を観光スポットとして、設備を整えなければなら

ないと思うが、市長の考えは。

市長 千歳山についても展望所の整備や、ライトアップ事業など、多少事業費は必要になります。投資が必要ではないかと思っております。



千歳山登り口

KAMIAMAKUSASHI GIKAI DAYORI

Q

健康推進計画の中で

A

健康推進計画の中で進めていく



窪田 進市 議員

窪田 ウォーキングなどの運動ができるロードなどを指定することで、健康の維持・増進を安全・安心に行うことができると思う。

また、大矢野町の北部農免道路は、植樹帯に草木が生い茂り、交通に支障を生じている。整備してロードとして利用できるか。

健康福祉部長 健康推進計画の中に折り込んでいければと考えます。北部農免道路の植樹帯は、当初の事業計画から難しいと考えられますが、県と協議させていただきたいと思



北部農免道路

窪田 水産研究センターで普及の見通しができたと聞く。県はブランド化に向けて動き出している。本市でも積極的に推進すべきではないか。

市長 上天草市として一大産地となり得ると思っております。大きな可能性があり、県と連携して進めていきたいと考えています。

【クマモトオイスターの養殖状況と今後の推進について】

窪田 TPPによる自由貿易を実施すれば、日本の農業はつぶれるのではないのか。また、国が示す農業政策には、天草地域では受け入れに限度があるので、小規模、高齢化でもできる独自の政策が必要ではないのか。市長に聞く。

市長 TPPについては、基本的に反対です。農業振興については、提言いただいたことをより具体的に踏まえ、政策提案させていただきたいと思

Q

イノシシ増殖！
大矢野農業の危機

A

庁内で緊急検討します



園田 一博 議員

【園田】 昨年度のイノシシ捕獲頭数8

96頭、本年度448頭(10月末現在)、と年々増加し、遂に大矢野町にも子連れのイノシシ集団が出現した。現在大矢野町中地区には4集団、維和に1集団生息していると思われる。「現在の捕獲ペースならば3年後には、大矢野での農業経営はできなくなる。」と猟友会の方の考えもある。農業で生計を立てている人々にとって深刻な事態である。早急な対策が必要で、特に市長の政治判断をお願いしたい。

【市長】 庁内で水際というか、大々的に今の時点で行動すべきかどうか、検討したいと思います。

【園田】 箱わなも総数で111基設置されているが、大矢野分を至急製作し、至急、配置していただきたい。



【観光対策について】

【園田】 10月より、A列車からシークルーズで上天草に観光客を受け入れているが、その受け皿としての観光循環バスや観光拠点の千巖山をもっと生かさなければならぬ。千巖山の景観を妨げる雑木の撤去と休憩所の建設が必要と思う。国立公園内の整備は法律により制限があるが、自治体の判断で整備できるように、国や環境省との交渉をぜひ総務課長にお願いしたい。

【総務課長】 国立公園内の第2種特別地域に指定され、整備や開発の場

合、必ず環境省の許可が必要になります。私も国から出向していますので、その場合は、積極的に交渉にあたりたいと思います。

【図書館建設について】

【園田】 図書館建設については、庁舎や学校建設等大型事業が続くなか、反対ではないが、統合後の学校校舎を利用するなどまだまだ知恵を出し合うべきと思う。

Q

豊かな海づくり大会の
天草への誘致を

A

誘致活動を行っていききたい



桑原 千知 議員

【桑原】 平成25年に熊本県で「第33回全国豊かな海づくり大会」が開催される。この大会は、水産業に対する認識を深め、水産業の振興のために行われる国民的行事であるが、市長はこの大会開催の意義をどのように受け止めておられるか。

【市長】 天皇皇后両陛下御臨席という国事行為となり、大きな社会的メッセージが寄せられます。天草地域は熊本県の漁獲高の7割程度を占めていますので、場所としましては当然天草を第一に考えていただきたいと思っております。

【桑原】 天草の海は、水産資源にめぐまれた豊かな海として知られている。しかし、近年、漁場環境の変化、水産資源の減少、赤潮の発生などで水産業のおかれた状況は悪化している。天草地域での本大会の開催は、水産業の再生への取り組みを大きく推進し、天草の水産業の活力を取り戻して水産業の振興を図るのに大きなチャンスになるのではないかと。

【市長】 上天草市を始めとして、天草

Q

地元業者の住宅建築は3年
間の固定資産税の免除を

A

提言を掘り下げて検討したい



田中 万里 議員

【田中】 過去5年間に新たに創出された企業や商店数と、過去5年間の倒産件数と一人当たりの市町村民の所得はどうか。どうなっているか。

【総務企画部長】 所得は平成16年が165万9千円、平成20年が172万8千円となっています。

【経済振興部長】 過去5年間に創出された企業等は138事業所で、倒産した件数は201事業所です。

【田中】 今の数字で上天草市の経済が年々衰退している事が分かるが、今後どのような活性化策を計画しているか。

【総務企画部長】 推移ですが、自主財源のトータルを平成24年からは33億2200万円と見ており、平成25年に一部基金を取り崩す必要があると判断しております。

【田中】 自主財源アップを目的に提案する。宇土市の固定資産税に関する減免制度があるが、これを上天草市に導入し、地元業者で新築の家を建てた場合、3年間固定資産税を免除する等の施策を行ったらどうか。



田中議員提案の地域活性化案

【市長】 わが市においても宇土市の状況を見ながらご提言頂いたことをより深く掘り下げ、検討していききたいと思っております。

Q

国保会計への繰り入れは
今後も継続されるのか

A

継続するが医療費
削減に取り組む



高橋 健 議員

【高橋】 国民健康保険制度が確立されて50年が過ぎている。当時は老人1人を3人で支える仕組みであったが、現在は少子高齢化に伴い3人を1人で支えていかなければならないのが現状である。国保制度は、簡単に言うところの国保の総医療費を国、県が半分、市の国保の総医療費を国、県が半分、残りの半分を被国保の人達で所得や資産に応じて払うと言う仕組みであるが、上天草市の現状としては、本来被国民健康保険者に求めなくてはならない5億円弱を市民の負担を軽減するため、市の税金で負担している。しかし、将来的には広域化(平成28年度を目途に検討されている)した時には被国民健康保険者の負担は今より増加すると考えられる。今後一般会計からの繰入を続けるとなると、被社会保険者との整合性、不平等性などは否めないが、今後どのように考えているのか。

【健康福祉部長】 合併の申し合わせ事項に「国保の税率は一番低い税率に合わせる」と言う取り決めで本市の国保会計はスタートしました。これまで二

度改正しましたが、それ以降は現行の税率です。それが原因で国保財政が逼迫したというのが事実です。保険税は皆で出し合って運営するのが基本です。あまりにも一般会計からの繰り入れに頼るといのはどうかと思います。しかし、税率をいきなり変えるというのも難しいと思いますので、段階的に変えることを、市長をはじめ各部署と検討していききたいと思っております。

【市長】 非常に難しい局面になりつつあります。今できることは、医療費の削減であり、ジェネリック医薬品の導入促進や、高額医療費の対象者、成人病といわれる方々を極力減らしていく作業を行う一方で、税率についても当然改正が必要であろうと思っております。



どうなる議員定数!

議員定数等検討特別委員会 報告

「市議会に関するアンケート」を11月に市内全世帯を対象に実施しました。その結果をふまえ、議員定数等検討特別委員会が開催されました。委員からは議会費圧縮のためには定数減やむなしとの意見や、アンケート結果を尊重すべき、あるいは『短絡的に議員を減らすべきでない』とする周辺地域の声をくむべきなど、様々な意見がありましたが、協議の結果、適正な議員数について「18人」を軸に、今後検討していくことで決定しました。



議員定数等検討特別委員会の様子

3月議会での
条例改正を目指し、
特別委員会で慎重に
検討しています。

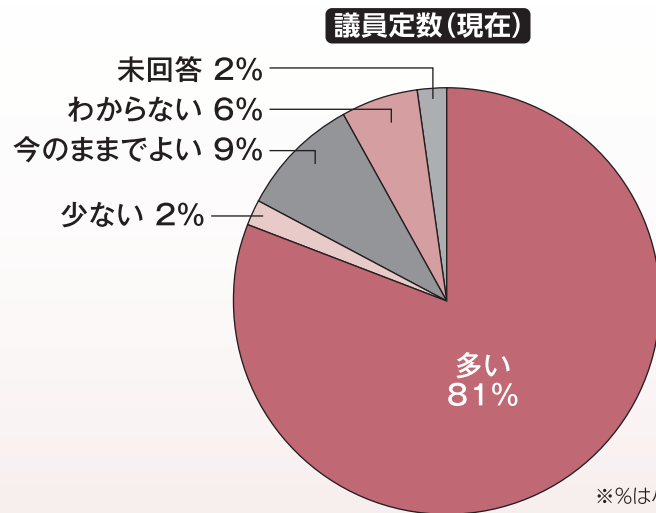
「市議会に関するアンケート」結果

実施期間: 平成23年
11月15~30日
実施方法: 市内全世帯へ配布
配布数: 11,249枚
提出数: 1,054枚
回収率: 9.37%

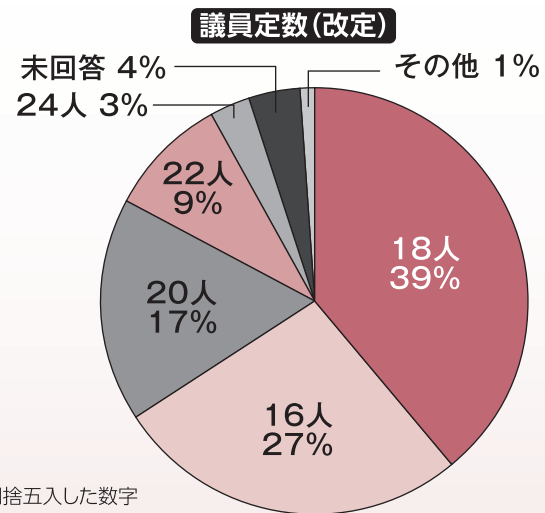
アンケートでは、『議会に対する評価』と『議員定数』について聞きました。議会に対する評価は、「ある程度評価する」が28%、「あまり評価しない」が41%でした。また、議員定数については、下記表のとおり81%の人が多いと感じているという結果になりました。

アンケート結果から、議会に対する評価の低さとともに、議会の役割に対する理解度や市議会への市民の関心は、さほど高くないことがわかりました。今後は議員定数の問題とともに、議会本来の役割を踏まえ、市民目線に立った議会のあり方を検討していく必要があると感じています。

Q 議員定数22人について、どう思う?



Q 何人が適当か?



※%は小数点以下を四捨五入した数字

アンケートのご協力ありがとうございました

【音楽の島、上天草について】
何川 11月に開催されたメモリアルホールでのコンサートを見て、2階の円形ホールを小規模の演奏会場として活用する考えはあるか。
経済振興部長 あの空間は貴重であり、今後いろんな面で活用していきたい。演奏した大矢野中吹奏楽部の楽器が慢性的に不足している。吹奏楽は一生を通じてできる良質な音楽であり上天草が誇る音楽文化である。



11月に開催された上天草メモリアルコンサートの様子

【街を照らす灯りの重要性について】
何川 天草四郎公園のライトアップは好評だが、反面上天草高校方面に向かう道路は街灯設置が不十分なので街路灯を設置すべきであると思うが。
総務企画部長 早急に防犯灯設置の基準を再整理し、通学路の安全確保の観点から必要なところには設置していきます。

る。楽器購入の支援をお願いしたい。



何川 雅彦 議員

KAMIAMAKUSASHIGIKAIDAYORI

【健康福祉部長】 今回の国の基準が5200円になっていきます。今4200円です。今後施設を増設しますと、保険料に大きく影響してきます。『負担』と『給付』を調整する必要がありますので、まだ結論には至っていません。
島田 今回の介護保険改正による保険料の値上げはどれくらいになると想定しているか。
健康福祉部長 今回の国の基準が5200円になっていきます。今4200円です。今後施設を増設しますと、保険料に大きく影響してきます。『負担』と『給付』を調整する必要がありますので、まだ結論には至っていません。

【介護保険改正の主なところは負担と給付を調整し保険料を決定】
島田 最近、「介護が必要になったら老人福祉施設にお世話になって最後を迎えたい」と思っている方が増えている。「これから先、施設に入所したいとき入所できるのか」と不安に感じる人もいると思う。
介護認定者数と施設の整備状況をお聞きしたい。
健康福祉部長 介護認定者は全体で2007名であり、要介護3・4・5で782名であります。介護施設は、特老4施設で250床あります。その他老健施設3、療養型医療施設1施設、グループホームが7施設あります。



【市長】 在宅での介護については、多くの方が希望されていることは認識しています。家族慰労金については、要介護4・5の49人の方に支給しています。今後必要な事業となると判断していますので、議論を重ねてよりよい在宅介護のあり方を検討したいと考えています。



島田 光久 議員



現松島庁舎

松島庁舎建設計画

建設場所はゆめマート松島店近隣の土地を取得し、平成24年度に建設に着手し平成25年度に完成見込みとなっています。本体工事は5億円が予定されています。

- 「海岸近くなので防災対策は十分なものを!」
- 「本当に5億円でできるのか!」

防災計画

東日本大震災の発生をうけ、主に以下の事が防災対策として取り組まれています。

- 自主防災組織の充実
- 避難場所等の選定
- 新たなハザードマップ作成

- 「地域防災計画の早期見直しを!」
- 「防災計画策定には女性の声を反映させてください」



防災訓練の様子



「A列車で行こう」

観光客誘致

熊本三角間観光特急「A列車で行こう」の運行にあわせ案内看板設置や観光マップの作成、またさまざまなイベントが開催されています。

- 「『A列車』は龍ヶ岳町まで観光ルートに入れてほしい」

総括

このほかにも海岸の漂流物である流木対策の要望や、市の発注は市内の業者を優先して行うべきなど、たくさんのご意見が寄せられました。また議会にも議員定数などの問題で多くのご意見をいただきました。今回議会報告会を開催し、あらためて市民への情報提供と説明責任の重要性を痛感しました。寄せられたご意見は今後議論に反映させ、議会の活性化につなげていきます。

議員定数について

現在特別委員会を設置し、平成24年3月までに定数を決定する予定です。

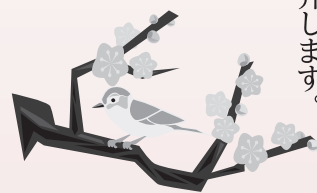
- 「地域の声を反映させるためには簡単に定数は削減すべきでない」
- 「今の時代からして22人は多すぎる。18人が妥当では。」
- 「議員報酬が高い」



「市民と議会とのつどい 議会報告会」

議会報告会を開催しました!

平成23年11月18日から28日まで、市内8カ所で全議員が参加し議会報告会を開催し、合計123人の市民の皆さんに参加いただきました。今回も昨年度同様、抽選により4班に分け、それぞれの地域に出向きました。平成23年度の議会において議決されたことや今後議会を取り上げられる事の中から、市民の皆さんに関心があることを中心に報告し、その後質疑応答に入りました。それぞれの地域の要望や地域振興の提言など積極的にご意見をいただき、なかには議会等に対する厳しいご意見もあり、日常の活動など、見直す部分があることを痛感しました。



ここでは会場での主な報告事項と寄せられたご意見について、その一部をご紹介します。



湯島公民館



大道老人福祉センター



中公民館



アロマ



樋島老人福祉センター



姫戸老人福祉センター



教良木河内出張所



上公民館



人生は楽笑

【姫戸】
齊藤敏一さん 100歳

まちの笑顔 シリーズ



人生は楽笑、笑顔シリーズ。今回は、明るく元気一杯で、笑顔を振りまきながら颯爽とバイクにまたがり、町内を楽しく散策されておられる100歳の齊藤敏一さんをご紹介します。

齊藤さんは、幼い頃7歳で父親を亡くされ大変な苦勞をされたそうです。若い頃はセメント会社(現ヤマハ工場)や造船会社で働き、その傍ら農業をして一家を支え続け、懸命に頑張ってきたと、当時を思い出しながら話してくださいました。そんな中一番の苦勞をお聞きしたら、『農業をするのに当時は牛を使っていたが、指導者たる親父もなく、牛を馴らし扱うのに苦勞したことかなー』と。『しかし、今思えば苦勞を苦痛と思えぬ時代だったかなー』と。

区長を8年、老人会長12年、民生児童委員を21年務められ、厚生大臣表彰を受賞されるなど、姫戸町民が他に誇れる人です。

若さを保つ秘訣、楽しみ、生きがいを尋ねると、『人生何事にもくよくよせず、若い人と交わり、歌ったり、踊ったり、身体を動かすこと。週1回はさわやか会に参加している』と可愛く(失礼?)笑顔で応えてくださいました。

こちらが若さ、元気をいただきました。いついつまでも元気で長生きされんことを祈願いたします。

まちを歩いて...

「もりすけさん」

もりすけさんとは、さかのぼる事375年前の天草・島原の乱の総大将・天草四郎の「軍師」、もりそういけん まつ ほころ 森宗意軒を祀った祠の通称名です。

出身は現大阪府ですが、小柳(柳地区)の景観を気に入り住みついたといわれています。江戸初期の兵学者・由井正雪の妖術の師ともいわれ、小説「魔界転生」にも登場して有名になりました。宗意軒の“靈験”を伝える逸話も多く、風を起こし、海を歩いて渡った“怪人”と伝えられ、原城落城の際に命を落としたとされます。

昨年全国版の旅行情報誌にも取り上げられ、パワースポットとしても徐々にその名を広げています。

大矢野町柳地区



表紙の写真



辰年!元旦!龍ヶ岳山頂の断崖絶壁に巨大昇龍現る!!

今年のお正月に、観光PRとしてNPO法人天草元気工房さんより、龍ヶ岳山頂に巨大な龍の絵が掲げられました(1月10日で終了)。見晴らしのよい龍ヶ岳、多くの方に訪れていただきたいですね!

次の定例議会は

3月です。



ぜひ傍聴にお越しください。

詳しくは議会事務局へ ☎0964-56-1111

編集後記

議会だより「えがお」も発刊以来、今回第8号をお届けすることができました。これもひとえに、市民の皆様の温かいご協力とご支援のおかげと、編集委員一同心から感謝しお礼を申し上げます。

市議会では、市民のニーズに出来るべく、多種多様な議論を展開し、努力を重ねているところです。

私達「えがお」編集委員も、議会終了毎に限られたページ数の中、市民の側に立つて、「何を、どんな内容を、どんな形でお知らせすべきか」委員一人ひとりが考え、全員で話し合い編集に当たっています。

が、市民の皆様方の更なるご意見ご要望をお寄せいただき、より充実した紙面づくりに邁進したいと考えております。委員全員が上天草の花を咲かせる土になれるよう努めてまいりますので、今後とも

ご愛読の程お願いいたします。

(猪塚 安親)

上天草市議会

広報編集特別委員会

委員長 猪塚 安親
副委員長 津留 和子
委員 川口 望
須崎 光枝



平田 晶子
田中 たつお